

## 第5期麻生区区民会議 第8回企画部会 議事要旨

1 開催日時：平成27年8月7日（金）午後3時～午後4時30分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：[委員]

岡倉委員、白井委員、菅野委員、高倉委員、高橋(慶)委員、林委員

(欠席委員) 上野委員、金光委員

[事務局]

井上課長、白石担当係長、榎本

4 傍聴者 0名

5 配布資料

- 資料
- 1 各専門部会議事要旨
  - 2 第5回全体会議次第(案)
  - 3 各専門部会全体会議報告書(案)
  - 4 区民会議フォーラムについて
  - 5 区民会議に寄せられたアンケート

参考資料

- 1 第7回企画部会議事要旨
- 2 第2回あさ子育てフェスタチラシ
- 3 区民車座集会チラシ

6 議 事

(1) 専門部会の検討経過報告

ア 若い世代が住みたくなるまちづくり部会

【説明事項】

・白井部会長から、資料1-1により第8回部会の内容について報告。空き家の利活用について、不動産団体との意見交換。麻生区の空き家率は10%。空き家対策について、一人一人抱える問題が違うことから、そちらに合わせて提案をしていかないといけない。不動産団体への質問事項については、回答できる範囲で次回以降回答してもらう。学生課へのヒアリング内容について次回勉強会にて検討予定。麻生区の魅力のブランド化とPRについて、流山市では、キャッチフレーズ(都心から一番近い森のまち)を使い、自然の豊かさなどブランドイメージを作り上げた例がある。また、第2回あさ子育てフェスタアンケートの内容について、子育て世代2名を呼んで検討した。次回部会において、子育てフェスタでの実施体制について検討予定。

(主な意見)

・空き家の利活用と若い世代が住みたくなるまちづくりを結びつけることが難しいのではないかと考えている。→あざみ野、たまプラーザなどの駅の近くに高齢者が家を所有しており、その人たちが有料老人ホーム等へ入居した後の空き家に若い人を入れている事例がある。所有者の情報提供が鍵になってくるとは考えている。相続の問題等から情報提供をしたくないと考えている人もおり、個別に問題が違ふことから、それに合わせて対応していく必要がある。

・行政等の協力で情報の共有化を図り、次の人へ結び付けをしていく仕組み作りが出来るのではないかと考えている。

・現在の空き家についても検討していく必要があるが、将来的なことも考えていく必要があるのではないかと考えている。所有者が元気な時から、空き家の利活用についての情報提供の意思を確認しておく方法が考えられないかと考えている。

→どのような仕組みや組織作りがよいのか検討中である。

・麻生区内の音楽大学では、空き家を一件提供して学生が4～5人で住み、一部屋を防音室にしている。映画大学では、普通に家を借りると高額になるため、シェアハウスの提供ができるか検討している。ただし、集まりやすいような流れのある場所でないかと、斡旋していくのは難しいのではないかと考えている。

・新百合ヶ丘のイメージを調べてみたところ「田舎のある都会」というキャッチフレーズがあった。黒川駅から明大農場までに道のりは原風景のようで、麻生区の魅力のキャッチフレーズとしてもイメージに合うと思う。

## イ 市民活動・地域活動の活性化部会

### 【説明事項】

・岡倉部会長から、資料1-2により第8回部会の内容について報告。「ボランティア活動の促進」について、川崎市シティプロモーション戦略プランにおける「人が知ってから行動するまでの段階」が5段階あるが、「知る」「関心を持つ」の2段階に関して、意見交換を行った。小田急電鉄と協定を締結して、新百合ヶ丘駅の掲示板を活用できないか、イオン新百合ヶ丘店での区民のお知らせを1カ月ごとにテーマを変えてPRできないか等、検討した。当面はイメージを定めずに審議を進めていく予定。区民まつり、健康づくりのつどい、福祉まつりのイベントの内、「健康寿命」との関連性から健康づくりのつどいが一番適しているため、ボランティアのPRブースを設置する予定となっている。目ぼしい調査先があれば、今後の審議でも順次挙げていくことで確認した。

(主な意見)

・「アルテリッカ」や「やまゆり」など登録者は多くいるが、ボランティアと結びつかないことが多いと、上手い仕組み作りがあればよいのではないかと考えている。上麻生隠れ谷公園などの取組み例はあるが、やはり市民活動は、特定の人々が活動している状況がある。

・既存で麻生区にはどのような活動があるのか、活動団体の具体的な悩みや人材不足についても把握する必要があるのではないかと考えている。また、新たにこんな活動があったらいいなというような発想を考えて、活性化に繋げていくのがよいのではないかと考えている。

→テーマが大きいので、ある程度絞ってボランティア促進の方向性について決めていかないと議論がまとまらない。そのため、部会では、シニア世代をメインにボランティアをしたい人や関心のあ

る人が気軽に参加できる仕組みを検討している。

## (2) 第5回全体会議について

- ・全体会議の次第(案)にある企画部会からの検討経過報告及び意見交換については、本日の内容次第で議事に入れるかを検討する。
- ・新たな総合計画素案について、全体会議当日、総合企画局企画調整課と総務局行財政改革室より説明がある。事業全体についてのパブリックコメントのアナウンスがある。区の部分の細かい説明というよりは、事業全体について、説明がされる予定。
- ・資料3-1について、白井部会長より説明。子どもとその親が集う場づくりについては、児童とその親世代が主な対象となる。
- ・親子で参加するイベントは非常に人気が高い。子どもに色々な体験をしてもらいたいという気持ちがあるのではないかと。市民活動団体が行政や地域と連携して様々な親子イベント等を多く開催しているのは、麻生区の特徴ではないかと。全体会議提出資料については、修正等があるため、部会長とコンサルタントと事務局で調整していくこととなった。
- ・資料3-2について、岡倉部会長より説明。全体会議提出資料については、8月の次回部会で詳細を検討していく予定。資料の中の今後の審議の部分で、麻生区健康づくりのつどいブース開設が全面に出てきているが、ブース開設は一つの手段であって、その他に2つくらいは審議内容がある。
- ・事務局より、「かわさき改革カフェ」の充て職について説明。区民会議委員の中から推薦をいただきたい。全体会議次第の「その他」で報告予定。

## (3) 区民会議フォーラムについて

- ・事務局から、資料4により区民会議フォーラム開催案について説明。
- ・フォーラム開催については、各部会での検討事項とした。

## 7 その他

### ○区民会議に寄せられたアンケートについて

- ・今回は、市民活動・地域活動の活性化部会に寄せられたアンケートであり、意見を把握しながら今後の審議を進めていく予定。次回発行の区民会議ニュース3号に区民会議としての方向性や回答を掲載していく予定。

以上